

大西金陽 （おほにしやう） 畫家、漢詩人。安政二年十一月大和國左條生れ、昭和十年七月二日歿（七八五—一九三五）。諱通、字子簡、通稱久治郎。別號獨臥樓、讀畫樓、金剛山人。父周雄は狩野派の畫家で、父の畫を、高木秋水に漢詩文を、松岡春臺に篆刻を學んだ。明治十五年北陸金澤に卜居、木蘇岐山、上居香國、黒木椽堂等と交はる。また天野方壺、清人胡鐵梅の奨めで南畫に轉じ、第三回内國勸業博覽會で褒賞、爾來内外公私繪畫詩會の入賞十數次。北陸繪畫協會副會長の他、諸種畫會審査評議員等を務めた。

古稀記念出版の『金陽畫譜』があり、『金陽遺稿』（昭和十六年八月二十五日富山・瀬野喜太郎刊）は漢詩集。

